

2023年9月8日(金)

フランスに最も愛された政治家:シモーヌ

皆さんは、フランスの政治家でシモーヌ=ヴェーユという女性をご存知でしょうか？ 標題にあるようにフランスやヨーロッパでは、とても著名な方ですが、惜しまれつつ 2017 年に 90 歳で永眠されました。この女性の生涯を扱った映画『シモーヌ・ヴェーユ』を先週末、新宿駅東口のミニシアター:武蔵野館で鑑賞して来ました。

1979 年、初めて実施された欧州議会選挙で議長に選出されたシモーヌは、ユーゴスラビアの民族紛争、エイズ患者問題など矢継ぎ早に改革に乗り出し、解決に導く手立てを打ったことで世界に名を知られました。

1927 年生まれの彼女は、ナチス・ドイツによるフランス占領の中、17 歳の時にゲシュタポに検挙され、アウシュヴィッツ=ビルケナウ強制収容所に送られ、地獄のような環境下で母を亡くしながらも姉と共に奇跡の生還を果たしました。フランス帰国後、司法官を目指して大学へと進み、19 歳でアントワヌ=ヴェーユと結婚、三人の子を授かった後、1957 年に司法省刑務所管理局で囚人たちがおかれた劣悪な環境改善と人権回復に取り組み、その行動力で確実に実績を上げて行きました。

1974 年に保健大臣に抜擢されると、社会問題化していた避妊問題に正面から向き合い、カトリック教徒が多数派を占めるフランスで、さらにはまだまだ男性優位な風潮の中、人工妊娠中絶法案の合法化を実現しました。その後、1995 年には第二次世界大戦中におけるユダヤ人迫害に対するフランス国家の非を認めさせるなどした後、2001 年からはショア記憶財団の記念館の代表としても活躍しました。

映画は、カットバックが多用されており、戸惑うこともあるかも知れませんが、画面に引き込まれ時間を感じさせない作品でした。

参考文献

シモーヌ=ヴェーユ, 石田 久仁子訳(2017)『シモーヌ=ヴェーユ回想録 20 世紀フランス、欧州と運命をともした女性政治家の半生』パドウィメンズオフィス, 325 頁.

校長 石飛 一吉

